

令和4年度 芝公民館運営審議会 議事録

◎日 時 令和4年7月8日(金)午前10時00分～午前10時25分

◎会 場 芝公民館「ホール」

◎出席者

○委員 ◎笠原 博、○平田輝久、笠原 昇、矢作邦男、飯塚健司、
榎本幸平、春山 実、佐久間章匡、四倉孝広、坂口美津子、
古郷治子、野島久美子、碓 康雄、加藤安子、平井美千代
以上15名

○事務局 廣瀬館長、宮近主事、岩城参与

◎欠席者 なし

事務局より、川口市審議会等の会議公開に関する要綱に基づき、当審議会が公開であることから事前に公開募集したところ、傍聴希望者がいなかった旨報告する。

事務局より、委員定数15名の全委員が出席していることから、川口市公民館運営審議会条例6条第2項により、審議会が成立していることを報告する。

当審議会の会長に笠原（博）委員、副会長に平田委員を選出した。

笠原会長の開会あいさつ後、公民館運営審議会条例第6条1項により、会長が議長となり議事が進行した。

今回の議事録署名人は、四倉委員と古郷委員を指名し、両委員は了承した。

◎議 題

- 1 令和3年度事業結果報告等について
- 2 令和4年度事業経過及び事業予定について
- 3 その他

笠原議長が議題1と2について事務局に説明を求め、事務局は、資料にもとづき説明し、承認された。

○質疑応答

議題1

碓 委員 : 公民館の利用状況はどうか。

事務局 : 令和元年度の利用者数は約26,000人だったのに対し、令和2年度は約13,600人、令和3年度は約24,200人であった。令和4年度は6月末までで約10,000人である。新型コロナウイルス感染症の状況により、休館や開館時間の短縮、利用人数の制限を行っていたが、現在はこれらの制限を撤廃しており、活動の休止を余儀なくされていた団体も、ほぼ従来の活動に戻ったようである。

議題2

碓 委員 : 各団体の活動がほぼ従来通りに戻ったとのことであるが、子供対象講座について、いつごろから再開する予定か。

また、献血会であるが、昨年度はいろいろな取り組みの結果、献血者が増加したが、今年度の取り組みはどうか。

事務局 : 子供対象講座について、工作教室の一環として7月2日に七夕の飾り付けを行い、11名の参加を得た。子供が対象ということもあり、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、児童文庫運営委員会とも相談して決定したい。

献血者の増加に対する取り組みについては、献血会と相談して対応したい。

坂口委員 : 昨年度に献血会役員を通じて配布された『献血協力依頼カード』はとても良かった。続けていただきたい。

矢作委員 : 献血会の会長だが、昨年度はカードの配布や商店会へのポスターの掲示依頼など碓委員には大変ご尽力いただいた。せっかく献血にいらしても服薬状況などによって採血できない方がいらっしまったので、『お薬手帳』の持参などについても案内したい。各町会から1名から2名参加していただけるようにお声掛けしていただければと思う。

事務局 : 昨年度の献血実施状況は、200ml 献血が 2 名、400ml 献血が 15 名である一方、採血できなかつた方が 3 名おられた。日赤によると「飲んでいる薬の種類によっては献血に不向きな場合もあり、服用している薬の名称を正確に把握していない場合は、『お薬手帳』を持参していただきたい。」とのことであつた。

笠原議長が議題 3 その他について事務局に説明を求め、事務局は、資料 1 令和 3 年度執行状況、資料 2 令和 4 年度予算の説明をした。

また、事務局よりエアコン更新工事についての協力に対するお礼があつた。

○質疑応答

議題 3 なし

笠原議長 これをもって会議を閉会する。

平田委員 閉会あいさつ